

# 平成 30 年度 第 1 回 学校運営協議会 議事録

日時：平成 30 年 6 月 28 日（木）10 時 00 分～12 時 00 分

場所：神奈川県立津久井高等学校 3 階看護実習室

## 議事（司会：定時制教頭）

### 1 校長挨拶

- ・生徒には津久井高校を「好き」と思ってほしい、「楽しい」と思ってほしい、失敗を恐れずに「やってみなはれ」の心を忘れないでいてほしい。この3つを伝えていきたい。
- ・「学校教育目標」にある通り、「基礎学力を身につけ活用できる生徒」「モラル・マナー・ルールを遵守できる生徒」「コミュニケーション力・行動力を発揮できる生徒」を育てたい。
- ・職員有志の「シェア cafe」の活動では、授業のユニバーサルデザイン化をテーマに今後研究を重ねていく予定。

### 2 学校運営協議会委員に係る委嘱状手交

校長より各委員に委嘱状を手交。

### 3 委員・関係職員自己紹介

### 4 学校運営協議会概要説明

- ・神奈川県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則について
- ・神奈川県立学校に設置する学校運営協議会の運営等に関する要綱について
- ・学校運営協議会について

### 5 会長、副会長の選任（委員の互選）

≪全日制、定時制の紹介 VTR 上映≫

### 6 報告事項

#### （1）学校の概要について（全日制教頭）

沿革・学校形態・生徒の状況を説明。

## 7 協議事項

- (1) 学校教育計画及び学校目標について（全日制教頭・定時制教頭）
- (2) 教育課程の編成について（全日制教頭・定時制教頭）
- (3) 学校組織の編成について（全日制教頭）
- (4) 学校予算の執行について（事務長）
- (5) 学校施設及び設備等の管理及び整備について（事務長）

《質疑応答》 □：委員 ■：学校

□内出中出身の生徒が多いのはなぜか？

■通学範囲内。自転車で通える。

■谷ヶ原駐輪場に自転車を停めてバスに乗る生徒も多い。

□定時制の生徒の年齢構成は？

■学び直しのための全日制からの編入生や、高齢の生徒もいる。不登校経験者が多い。

□教員の年齢構成は？

■新卒の教員が増えている。経験値こそ少ないものの、新たな発想やバイタリティがある。ただ、40歳代が少ない。また、50歳代が若い教員の意見を落とし込めていないという現状。

□部活動加入率は？

■加入率は2割。ただ、今年度の新入生は部活に興味を持っている生徒が多い。やっとグラウンドが高校らしくなってきたが、夏を超えて活動を続けるのは難しい。

□部活に加入していない生徒は何をしているのか？

■アルバイトをしている生徒が多い。

■部活動を通して、先輩、後輩といった人間関係を学び、アルバイトでは、大人とのコミュニケーションを学ぶことができる。部活動がアルバイト経験は社会へ出るための大きな財産になる。

■津久井高校が生徒達たちの夢の実現に向けたスタートになる。そういう意識で課題を見出し、取組みを進めていけたらいい。

□生徒が抱える経済状況の実態は？

■バスの定期代も高く、自分で働いて払っている生徒もいる。

■就学支援金は9割支給。

□部活とアルバイトの経験が採用に関わってくる。

□進路変更をする生徒の実態は？

■学校要覧に記載の通りである。

□福祉科の生徒で進路変更をする生徒はいるのか？

■福祉の学習に対する不適応など、さまざまな理由で、一定数はいる。

□理由のない不登校の実態は？

■遅刻はかなり多い。曜日や天候によって変わる。

■改善策としては、8時40分の朝のホームルームを授業としてカウントするなど考えていきたい。

□今の生徒は自分たちの時とは全くちがう。どのような意見を出していけばいいのか。

■学校の中にいると、外からの視点が見えなくなる。生徒の実態に対して気が付かない部分で意見をいただきたい。どんな資料があればより議論が深まるかも教えていただきたい。

#### (6) 津久井高等学校における学校運営協議会について (定時制教頭)

「津久井高校におけるコミュニティ・スクールについて」、「津久井高校コミュニティ・スクール部会組織について (案)」

《質疑応答》

□神奈川県社会福祉事業団の理事長や西部信用金庫の理事長が津久井高校 OB。そうした方にも協力を要請してはどうか？

■社会福祉事業団には福祉科の生徒が実習でお世話になっており、理事長には研修等にも来ていただいている。部会の活動にはさまざまな方に協力していただきたいと考えている。

学校運営の基本方針について、すべて承認。

#### 8 その他

特になし

#### 9 授業・施設見学

以上